

ウイルスはどこから来るの？

最高気温は三日連続で38℃超えました。お隣の静岡県浜松市で国内最高気温に並ぶ41.1℃を記録したそうです。国内最高気温は岐阜県多治見市のイメージが強いので、「浜松」ということに驚いています。熱中症には十分気をつけて過ごしてください。

今月も相変わらず社会的に注目を集めるコロナウイルスのお話です。4、5月の頃と比べて、医療現場もできることが増えてきています。感染対策に必要なこともわかってきて、世界中で対策が取れるようになってきています。

先日、メディアで「新型コロナは風邪と一緒に」と報道されているのを耳にしました。この意見には半分くらい賛成です。私の印象では、重症度は普通の風邪や肺炎と同等で、拡がりやすさは全く違うと感じています。



今更、言うまでも無いと思いますが、劇場、ナイトクラブ、スポーツジム、カラオケなどは感染リスクが高いです。多くの人は、「そんな3密の所に行くから感染するのだ！」と言います。しかし、大事なのは「そこにウイルスをもっている人がいたから感染した」ということです。まるで、上記のような人が集まる空間に、どこからかウイルスが(勝手に)やって来るかのような報道がされている場合がありますが、これに私は最近特に違和感を抱いています。



感染対策の本質は、“症状がある人”が“人の集まる場所に行くこと”を徹底して避ける事です。少しくらいだるくても、特に若い人は体力あるからついつい出歩くのかも知れませんが、体調に異常がある場合は絶対に外出しないでください。登校する必要がある場合は、起床後に体温を測定するとともに、発熱症状や風邪症状があれば保健管理室および関係する大学関係者に連絡のうえ、自宅で安静にしてください。

本日も、愛知県内で新たに43人の新型コロナウイルスへの感染が確認されたことがわかりました。愛知県は、累計患者数が3,782人となっています。まず、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

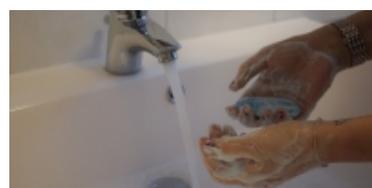
今社会で起こっている大きなクラスターや集団発生は多くの場合「咳や熱があったり、体調悪い人が無理をしてその場に参加する」事が原因です。この“症状がある人”が徹底して人の集まる場所を避けること。治るまで出てこないこと。まずはこれが一番大事なのです。

無症状者をなんとかして見つけ出そうとするのはかなり難しいと思います。それに比べ、咳や熱があったり、体調悪い人を探すのは比較的簡単だと思います。見ればわかります。

発熱や咳、倦怠感などがある人は絶対に人の集まる場所に行かない！当たり前と思っても、そもそもそれができていないからたくさんの方が感染者が出るのです。人が集まるのが問題なんじゃないです。症状がある人が出てこなくていい世の中を作る事がまず大事です。それと、体調の異常を相談しやすい体制づくりも必要でしょう。中部大学も、これを目指さなくてはなりません。無症状でも感染するかも・・・、と言うのはその先にあることだと思います。

さらに、他県の高校のサッカー部で新型コロナウイルスのクラスター(感染集団)が発生したと8月上旬に報道されました。このクラスターは、寮生活で感染が拡大したとみられています。先ほども書きましたが、ウイルスは勝手に集まって来ません。学校に限らず、飲食店でも、医療現場でも、「ウイルスは外から持ち込まれる」のです。だからよくマスメディア報道で「学校で〇人、病院で〇人」みたいにわざわざ特定の業種だけ取り上げられたことで、「対策が悪い」と考えないでください。こういった現場の人たちは必死で感染対策していると思います。もちろん、中部大学も対策をしています。「患者が発生した施設が悪い」と言った様な、世の中の考え方は絶対に避けねばなりません。病気が起こるのは普通のことです。

しかし、そろそろ我慢の限界にきていることも事実でしょう。終わりが見えないコロナ禍ですから、いつまで我慢すれば良いのかと誰かに気持ちをぶつけたくもなります。そんな中、何かを悪者にしようとする気持ちが働くかもしれません。でも、広い視野で考えるなら、憎むべき相手はウイルスであって、人ではありません。人は誰もが被害者と考えることもできるでしょう。現に、東京都在住の男性が青森市の実家に帰省した際、「さっさと帰ってください!!皆の迷惑になります」などと中傷する内容の紙が実家の玄関先に置かれていたとの報道がありました。この男性、帰省するまでに2度、自主的に



PCR検査を受け、いずれも陰性だったそうです。どんな感染対策をしていたかを認識せず、批判をしませんか？最近、私はこう思っています(あくまで個人的見解であり、所属団体を代表するものではありません)。大学に来るために、公共交通機関をやめた学生もいます。飲食店でのアルバイトをやめた学生もいます。みんな、それなりに意識していると思います。

ウイルスは感染者の中にいます。当たり前ですが、感染していない人はうつしません。だからこそ、初心に戻り、感染対策をしっかりと行ってください。手洗い、距離、マスク、3密回避、これらをするだけで十分です。

外はまだまだ暑いですが。熱中症に気をつけて、夏を過ごしてください。

学生サポートセンター長 伊藤守弘(8月18日)